

第51年度  
スローガン

## 自己進化を実践しよう ～伝統に感謝し本質をふまえ時代適応力を強化～

### 第51年度9月記念講演会

平成28年9月9日 大垣フォーラムホテルにて

### 演題 「したたかさの実践が企業の使命」

参加者52名 特別会員8名 一般聴講者1名

～リスクだらけの環境で生き抜くために～



### 「リスクを考える」

ゆでがえる論や国際化、海外進出などを例に時代の変化への対応、それに伴うリスクの分散についてお話し頂きました。

立地的な自然災害のリスクは調査することで回避できること、安価な人材を求めて海外へ進出する事よりも確かな人財を育てることが継続できる企業に必要なであることを学ばせて頂きました。

講師： 大垣精工株式会社 / 株式会社セイコーハイテック 代表取締役 **上田 勝弘先生**



大橋誠治 第51年度会長挨拶

新年度の始まりにあたり  
スローガン・各委員会等への強い決意を語り  
9月記念講演会がはじまりました。



平野宏司 相談役より  
上田先生のお人柄も含めた  
講師紹介をしていただきました。



講演を拝聴して

石山隆一

「時代の変化を巧みにキャッチして知恵で勝負する」  
の言葉に、先代から受け継いでいく立場として、  
過去の実績にうめぼれていないか、自ら安定を望んでいないか  
改めて自分自身を振り返る良い機会を与えていただきました。

目まぐるしい変化とリスクの中で、グローバルな視点、徹底した市場調査と  
リスク管理、人材の育成が必要であること。自身も、他社との差別化や個性  
ということは、常日頃から課題としておりましたが、  
今後、新たなチャレンジをしようという時、常にそういったベースを  
築いておくことの大切さを教えていただきました。

今後のよい課題を与えていただけたと感謝いたしております。  
とても良いお話を有難うございました。



したたかさ→強かさ

上野 和幸

講演を拝聴してまず最初に驚いたのが、  
「したたか」を漢字で書くと「強か」だという事です。  
確かに文中にこの漢字が出てきても読めません。  
「つよか～」と、突然博多弁で誤読してしまいそうです。

それぐらい、思い込みと本質は違うという事を学びました。  
次に驚いたのが、  
上田先生から「私の業界の気質は K.D.D( 勤、度胸、どんぶり勘定 )、  
最近では K.D.D.I( 勤、度胸、どんぶり勘定、IT )になった」  
という DAI 語が飛び出した事です。  
幾つになっても変化を恐れず、新しい事にチャレンジしていかなければ、  
徐々に温まっていく鍋の中の Y.D.G になってしまうという事を学びました。  
Y.D.G は茹でガエルの事です。たくさんの学びと気づきを頂けました。  
ありがとうございます。最後に私も DAI 語で思いを伝えます。  
O.S.T.R.N.B!( おいども先生の様な強かラオパンになりたいばい! )

# 9月記念講演会



長崎での工場建設、沖縄での工場完成披露パーティでのエピソードも交えてリスクを回避する必要性について学ばせて頂きました。



加納浩二副会長の講演の御礼で講演会が締めくくられました。

## 第51年度9月総会



議長 吉田大助直前会長



第50年度 河合敏直会計



第51年度 大橋誠治会長



第50年度 北野英樹会長



第50年度 山口猛監査役



第51年度 久世研二会計

- 第一号議案 第50年度事業報告の件  
第50年度 北野英樹会長
- 第二号議案 創立50周年記念事業報告の件  
第50年度 北野英樹会長
- 第三号議案 第50年度決算報告及び監査報告の件  
第50年度 河合敏直会計
- 第四号議案 創立50周年記念事業決算報告及び  
監査報告の件  
第50年度 山口猛監査役
- 第五号議案 第51年度事業計画案の件  
第51年度 大橋誠治会長
- 第六号議案 第51年度予算案の件  
第51年度 久世研二会計

総会員数71名のうち、出席者56名・委任状出席者2名・書面評決出席者7名、過半数を満たしており会則25条により総会が成立しました。

## 第1回飲んで語る会

ラウンジ 紫苑にて

参加者44名



平野宏司相談役に乾杯のご挨拶をしていただきました。



司会進行をする井納親睦委員長と野原親睦副委員長



くじ引きでの配席で日頃とは違った会員との交流が深められました。



新入会員の皆さんとも楽しく語らう事ができました。



中締めのご挨拶は松本正平歴代会長にさせていただきました。



## 新入会員認証状授与式



本年度は7人の新入会員を新たな仲間として迎える事ができました。今後の皆様のご活躍を期待しております。

写真右より

- 堀 佳一 会員
  - 説田 裕高 会員
  - 堀 隆男 会員
  - 不破 環 会員
  - 西松 恭伸 会員
  - 杉野 辰彦 会員
- ・株式会社 堀組 / 常務取締役
  - ・株式会社 さし源
  - ・丸武産業株式会社 / 代表取締役
  - ・Dogsalon Jurian / 代表
  - ・トリプルウィン / 代表
  - ・有限会社 スギノ自動車

※尚、新入会員の 岡村佳祐 会員・岡村機工株式会社 / 取締役はご都合によりご欠席されました。

## 第50年度精皆出席者表彰

第50年度北野英樹会長より精皆出席者の皆様に記念品が手渡されました。

### 皆出席表彰者



- 松本正平 会員
- 大平晃嗣 会員
- 川瀬竜也 会員
- 北野英樹 会長
- 第五〇年度  
奥田祐太郎 会員
- 西野英乙 会員
- 野原実 会員

### 精出席表彰者



- 吉田光利 会員
- 渡邊雅大 会員
- 高木一也 会員
- 松下元嘉 会員
- 川合敏博 会員
- 第五〇年度  
北野英樹 会長
- 小林諒士 会員
- 大橋博己 会員
- 稲尾大介 会員
- 中島繁樹 会員
- 浅野信哉 会員

## 第15回全国高校生ポスターコンクール

表彰式 8月20日(土) スイトピアセンターにて

作品テーマ「水」

最優秀賞 早川穂香さん



第50年度北野会長が来賓として出席



第50年度寸田幹事長が司会を務めました。



記念撮影に臨む早川穂香さん

# 合同委員会

平成28年9月15日 いずみ庵にて

各委員会活動について委員会毎に活発な意見が飛び交いました。

参加者 44名



大橋誠治会長の挨拶からスタート、食事をしながら委員長想いや過去の活動を踏まえた前向きな意見交換が始まりました。



## 広報委員会

ことば以上の想いを届けよう！  
～進化したコミュニケーションツールを目指して～

委員長 大平晃嗣会員 副委員長 奥村浩年会員  
副委員長 川合敏博会員

- ・メルマガやLINEを活用しホームページへのアクセス数の増加を目指す
- ・会員限定ページをもっと活用していく

長屋是通アドバイザー  
以前に比べて比較的簡単にホームページなどが使えるので大いに活用して欲しい。



## 実践研修委員会 適応能力を高めて「自己進化」しよう！

委員長 田中真奈美会員 副委員長 高木一也会員

- ・即実践できる小さな事を大切に人財育成をテーマに研修を企画していきたい。

### 平野宏司アドバイザー

委員長・副委員長にはリーダーシップを取って欲しい  
リーダーシップを取る為にはその人自身が勉強する事が大切。



## 親睦委員会

ONE・OJB! ～絆を深め共に成長～

委員長 井納宏自会副委員長 野原実会員

- ・今までより更に一步踏み込んだ仲間作りをしたい。
- ・会員の家族も含め一つになれる企画をしていく。

### 吉田大助アドバイザー

親睦を深めるチャンスはあるのでは後は皆がそれを掴み取るかどうか、どんどん掴み取って欲しい。



## 会員委員会 新しい絆づくりで、みんなで進化しよう

委員長 松下元嘉会員 副委員長 白井俊治会員

- ・新入会員数10人を目標値と掲げていきたい。
- ・SNSを用いた会員獲得に加え、紹介力を強化し紹介での入会者数増加を目指したい。

### 浅野信哉アドバイザー

何かを成し遂げるには楽しむことが大切  
OJB活動・委員会活動も楽しんで実践してほしい。



## 長期計画委員会

新たなOJB活動の実践へ  
～さらなる進化への大事な1歩～

委員長 江森正会員 副委員長 林尚路会員

- ・5年後に会員数が20名減員するので対応策が必要
- ・次の50年への1年目として先の50年を見据えて活動する必要がある

### 松本正平アドバイザー

今後を見据えたOJBの位置付け、他団体との交流や協力を考える必要があるだろう。



# 合同委員会 二次会

平成28年9月15日 スリーキャッツにて

・合同委員会同様の熱気を持ちつつ和気藹々とした交流の場になりました。

参加者 32名



北野直前会長による乾杯の挨拶



新入会員の方々も一緒に楽しい時間



鳥居監査役は入会以来初の中締めの挨拶でした。



## 第51年度10月オープン例会のご案内



講師： 工学博士 五日市 剛先生

演題：「なぜ感謝するとうまくいくのか」  
～感謝の実践が個人の幸せや組織体の成功につながる～

日時：10月11日（火曜日） 19：00～20：30

場所：大垣フォーラムホテル 2F 旭光の間

参加対象：正会員・特別会員・ご家族（中学生以上）  
従業員・会員の紹介のあるかた。

参加費： 無料

# 創立50周年事業実行委員の皆様から、 一年間を振り返ってご感想をいただきました。

「50周年を終えて」

第50年度会長 北野英樹

昨年度は「50周年の節目の年」といった表現をよく使いました。人それぞれに人生の節目があります。入学、就職、結婚など……。そういった節目を迎えると生活の環境が大きく変わり、その変化に対応していくことで人は成長していきます。

第50年度、OJBは節目の年として記念事業を行いました。通常の年度と異なるさまざまな事業を試行錯誤しながらも行うことで、過去を振り返って検証し、先輩方の想いを受け継ぎ、我々現役会員も新しい経験を重ねながら成長し、心を新たに会に対する想いも創り上げてきました。

この2年ほど50周年記念事業を実施する中で、本当に多くの方々に関わらせていただきました。周年事業の経験の乏しい会長でしたが、多くの先輩や仲間にも助けられ、このように盛大な事業が出来た事は私自身の大きな財産になりました。

改めまして、実行委員会の皆様をはじめ、地域の皆様、特別会員の皆様、会員の皆様、会員のご家族の皆様にも心より感謝いたします。

副委員長という役割

実行副委員長 松本正平

周年事業に携わるのは、40周年、45周年に続いて3回目となりました。40周年が記念式典委員長、45周年が年度の副会長として携わりましたが、今回は実行副委員長としての役割を担うことになりました。

以前の2回は具体的に明瞭な仕事があったのですが、副委員長という立場は、何とも気恥ずかしい思いをするものでした。何故なら、具体的に「これ」をしたなんて実感がないのですね。委員会などで委員の皆さんが事業の報告をするたびに、ありがたい、皆さん素晴らしいなあと思っていたのが正直なところですが、周年事業に携われるのは最後なわけですので、できる限り関わることには口を出したと思います。

北野会長や、平野実行委員長に、「松本が傍らにいてくれて安心する。」と思っていただけていたら満足です。

委員の皆さま、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

50周年記念事業を終えて

実行副委員長 高橋卓哉

最初に私には分不相応な大役をいただいたにもかかわらず、出張のためなかなか参加できなかったことをお詫び申し上げます。

記念期ということで過去資料を振り返ると、この50年の間にOJBも変えるべきところは変え、根幹となるところは変えず、先輩たちの努力と想いにより現在に至ったことがわかりました。

経営の舵取りが難しい時代ですが、会則第3条にあるよう「自己の職業を通じて社会公共に貢献する」ことを念頭におき、常に時代に即した経営に活かせる研修を続けていくことが、地域社会また今後の後継者たちへの義務であると思います。

今年度は従来の研修委員会が実践研修委員会という名前でスタートし期待せずにはいられません。私も積極的に参加し研修させていただきます。

また創立50周年記念事業開催にあたり、関係者各位には大変お世話になり心より御礼申し上げます。有難うございました。



まだまだ伸びゆく若竹のように

実行委員長 平野宏司

大きな節目の年でした。

記念研修旅行では、伝統と文化、独自性溢れる企業の代表としてイタリアでフェラーリ見学の後、パチカンにて「アテナイの学堂」鑑賞へ。古代ギリシャの賢人達が思い思いの場所とスタイルで学びあう姿を描いた名画は、まさに研修の会のイメージです。

記念講演会・記念式典・記念パーティでは、OJBらしい内容と運びで地域の方々にお礼をすることができました。

50年度からのお声かけで実現した記念ゴルフコンペは、今までとはまったく異なる接点で地域の皆様と関わることができた好企画でした。

記念誌も見事な編集ですが、OJBを書き尽くすにはとても紙幅が足りません。

節目はこれから伸びるためにあります。まだまだ伸びゆく若竹のように、しなやかに健やかにグングンと会が発展していくことを望んでいます。

記念事業に関わったすべての方にあらためてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

「50周年事業に携わって」

記念式典委員長 大橋誠治

とても大きな節目である50周年に前年度からの準備委員会そして実行委員会に記念式典委員会の委員長を仰せつかり、事業の一端を担当させていただきました。

この委員会は記念講演委員会とも当日事業として関連がたくさん有り、当日の全会員役割分担や進行台本、式典は勿論のことDVD段取り、案内状作成、パーティー等についても携わりました。

おかげさまで式典委員会や記念講演委員会のメンバーにも恵まれ、役割分担した内容に基づき、粛々と準備を進めてまいりました。

私の出来る最大限と思い、色々段取りさせていただきましたが、皆さんより成功とか、良かったとか最終的に言葉を頂戴することができ、本当に助かりました。感謝致します。私自身は当初、会の卒業まで数年を残し、最後の奉公のつもりで記念式典委員長をお引き受け致しました。

その後、すぐに副会長を仰せつかり、とても印象に残る周年年度となりました。たくさんたくさん学ぶこともある中で、OJBの会員で有り難いこと、そして素晴らしい会員の皆様方が在籍しており、楽しく励みになることなど、いい経験になりました。有難うございます。

次回の周年年度の前年に卒業させていただきますが、次回担当される方への資料は確保して有ります。

何なりと申しつけてください。参考になるかとは思いますが、また、第51年度は通常年度ですが、色々企画させていただいております。

会員の皆様にも少しでも為になるよう邁進いたしますので、是非とも皆様のご支援・ご理解・ご協力を伏してお願いする次第であります。何卒、宜しくお願い申し上げます。

# 創立50周年事業実行委員の皆様から、一年間を振り返ってご感想をいただきました。

記念講演・記念式典を終えて 記念式典副委員長 久世研二

第50年度記念講演・記念式典が大盛況で終わることができました。

今回、記念式典副委員長という立場で記念講演・式典に携われたことは、自分自身の向上につながりましたし、今まで大垣青年重役会を築き上げた諸先輩方の伝統をより強く感じられる良い機会だったと思っています。

記念式典では進行役として小倉理恵さんに助けをいただきながら進行することができ緊張感と楽しさを同時に味わいました。また、来賓の方々 先輩の方々とも式典を通じて交流を深めることができました。半世紀の間、会を運営するということは、この時代とてもむずかしいことです。

100年先を見据えて今後 変えていくこと 守っていくことを議論しながらより良い会になる通過点だったと思います。多数の方々にご参加いただきありがとうございました。



ありがとうございました 記念講演副委員長 井納宏自

小倉委員長の記念講演に1000人呼ぼうという目標の下、様々な企画をさせて頂きました、駅前で毎月開催される元気ハツラツ市で50周年実行委員会と50年度の役員の方々に助けを頂いての講演のピラ配りや、様々なメディアへの告知等使える媒体は何でも使うという思いを大勢の人の協力の下実現する事ができました。

そして今回、記念講演委員会の新たな試みとして記念講演会事前説明会と明会朝活読書会を開催しました。記念講演会事前説明会では多数の会員から、どうすれば大勢の人に記念講演に参加してもらえるかの方法や情報を提供して頂きました。朝活読書会では朝7時という早い時間にも関わらず平野学園に大勢の会員に参加して頂き講師である齋藤先生の著書について参加者全員で意見を交わしあう事が出来、講演前に齋藤先生がどんな先生なのかを知った上で講演に来てもらいたいという小倉委員長の思いが皆さんに伝わったと思います。その成果もあってか1000人を超える参加者に記念講演に来て頂きました、これもOJBが一丸になって行動した結果だったと思います、皆様御協力本当にありがとうございました。

50周年を終えて

記念式典副委員長 永田康仁

先ずもって創立50周年という大きな節目に、記念式典副委員長として携われたことを大変光栄に思います。式典の中でも特に「OJBのあゆみ」の作成を担当させていただきました。新しい試みとして、岐阜経済大学の学生さんとコラボしましたが、彼らのアイデアや若いパワーには大いに刺激を受けました。また、DVD作成にあたり、会の先輩方と接し、50周年のテーマにもある「伝統」を肌で感じ、大変有意義な一年でした。創立50周年の役員に誘っていただいた大橋委員長はじめ、ご協力いただいた諸先輩方、岐阜経済大学の先生や学生さん方、会員の皆様には心より感謝申し上げます。

感謝

記念式典副委員長 山田真理

記念事業成功おめでとう御座います。まさか、こんな緊張することをやるなんて思いもせず、途中から、断れるものなら断りたいな、という気持ちでいました。しかし、終わってみたら盛大な記念事業に少しでも関わることが出来て、普段の私にはない、緊張感を感じる事が出来、少し成長したような気がします。

軽い気持ちで、記念パーティのアトラクションに友人の芸人さんと呼んだ為ちゃんとして盛り上げてくれるかも心配しつつ皆様に喜んで頂けるか心配で終わるまで、気がかりでした。これからも、OJBを通して成長していきたいです。有難う御座いました。

感謝

記念講演委員長 小倉秀樹

思い返せば記念講演委員長を任命され、当日までの間とても濃密な時間を送らせていただけたと思います。「聴講者1000人達成」という大目標を掲げた時から多くの皆様に温かいご協力をいただいたことが何より心に残っています。記念講演会成功に向けて「事前説明会」「朝活読書会」という新たな試みを致しましたが、当日多くの会員の方がご参加くださり、幸先良い一歩を踏み出すことができました。そして、50年度広報副委員長の清水会員にデザインしていただいた素敵なポスター・チラシが出来上がり、役員や会員の皆様にはポスター掲示や、チラシ配りに快くご協力いただきました。また、今回は役場の方に広報活動のご協力をいただくこともできました。困ったときにはいつも周りの方々に助けをいただきました。私はとにかく皆様をお願いする一方でしたが、皆様が本当に快くご協力下さったことを心から感謝申し上げます。何より、北野会長、平野実行委員長のお導きと、井納・大橋副委員長の活躍に助けられ、委員長という大役を無事終えることができたと思います。ありがとうございました。

感謝

記念講演副委員長 大橋博己

記念講演会副委員長として、小倉委員長の元、陰ながら全力でサポートさせていただきました。齋藤孝先生に決まり、集客数1000人という大きすぎる目標をたて、会員の皆様方には、一人10人は集客するような無理なお願いをし、当日合計1186名もの大勢の方々に来ていただく事ができ皆様方には、感謝 感謝 感謝です。50周年という節目のプレッシャーのなか貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

# 創立50周年事業実行委員の皆様から、一年間を振り返ってご感想をいただきました。

「創立50周年記念事業を振り返って」 記念誌・広報委員長 所研二

今回の記念誌では、周年年度の会長を務められた方々による座談会や特別会員の方々からのメッセージを掲載しましたが、その過程で先輩方のお話を聞く機会に恵まれた事がとても印象に残っています。

OJBに対する熱い想いや今後への期待等をお聞きし50年の時間の重みを痛感すると共に今後へ繋げていく大切さを感じました。

その中で特に多くの方々からお聞きしたのは、

「OJBは研修の会である」という言葉です「会則」や「未来への提言」も研修の会としての指針を示すものであって基本には「研修」があるのだと卒業まで1年となったところで今まで以上にその事の重要性に気付く事ができました。

実務としての原稿集めや編集作業では、近沢副委員長・田中副委員長をはじめ周年・年度の役員の皆様にもご協力いただき感謝申し上げます。もちろん会員・特別会員の皆様にもお忙しい中原稿のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

又、今回付属のDVDの制作を岐阜経済大学の学生の方々と行った事も良い経験となりました。

最後にこの様な研修の場を与えていただいた北野会長・平野実行委員長、ありがとうございました。

「役員を終えて」 記念誌・広報副委員長 田中真奈美

創立50周年記念事業に係らせていただけて本当に感謝しております。記念誌委員会の特別企画では、周年会長にお集まりいただいて、座談会を企画することができ、日頃のOJB活動では、知る事ができないお話を直にお聞きする事ができました。一層OJBの歴史の深さと重みを感じました。

また特別会員の皆様とのつながりと絆が深まりとても嬉しく思いました。感謝しております。

今回の55周年記念事業のときは、すでに卒業をしていると感じながら、記念誌作成に取り組みましたが、反省することばかりでした。

実践で自分を省みる機会をあたえていただき、信念・想いを形にする勇気を持てるように研修を積んでいきたいと思えます。

皆様本当にありがとうございました。

創立50周年記念事業を振り返って 記念旅行委員長 川瀬知哉

創立50周年記念事業では、私は記念研修旅行委員会の委員長を務めさせていただきました。委員長を務めさせていただく中で一番良かったと思えることは副委員長である前田会員、足立会員と一致団結して企画をまとめ、遂行できたことであると思えます。

記念旅行委員会が一つのチームとして機能し、それが旅先であるイタリアでも常に最高の旅行となる為に知恵を出し合い、それぞれの役割を自覚し、果たせたことが何よりも良かったと思えます。

研修旅行は50周年記念事業の中で最初の事業であり、後の事業に繋げられる旅行にできたことは大変良かったと思えますし、旅行に参加していただいた会員や多くの会員に支えられての成功であったと大変感謝しております。ありがとうございました。

創立50周年記念事業を振り返って 総務委員長 江森正

今回、入会して初めて周年の役員をさせていただきました。総務委員の委員長を仰せつかり、引き継ぎ資料等を頂いたときは、かなり不安がありました。しかし、他の周年の役員・年度の役員特別会員の皆様に助けられました。

特に協賛金のお願いについては、会員の方々、特別会員の方々にお声をかけていただきご協力いただきました。無事に計画した目標予算が達成出来き、周年事業を無事終了ことは感謝しかありません。本当に有難うございました。

創立50周年記念事業を振り返って 記念誌・広報副委員長 近沢正

今回、記念誌広報委員会でご一緒だった所さんと田中さんは、過去に何度か年度の役員を一緒にやらせていただきました。所さんは45年度私が会員親睦委員長の時に担当幹事、色々な行事を企画しましたが、しっかりと支えていただきました。49年度私が幹事長の時には監査役。色んな事があった49年度でしたが心の支えにもなっていました。田中さんは49年度、広報委員長でした。女性ならではの視点で作成した「ひろば」には毎月癒やされていました。私にとって会の中でも特別なお二人との50周年の仕事でした。所委員長の采配、田中副委員長の細やかな気遣いもあり素晴らしい記念誌を残すことができました。どうもありがとうございました。

創立50周年記念事業を振り返って 記念旅行副委員長 足立貴保

この度、50周年記念事業の活動を通して、一年間大変貴重な経験をさせていただきました。

イタリア研修旅行の企画から始まり、ヨーロッパへは初めて行かせていただいたので、西洋の文化を肌で感じ、自身の世界観を広げることができました。また、50周年事業の講演会・記念式典、オープンゴルフコンペなど、周年ならではの規模で開催する事業の計画と運営はとても勉強になりました。最後になりましたが、川瀬委員長並びに前田副委員長には大変お世話になり、また50周年及び年度役員の皆様とも、とても楽しく活動することができました。一年間ありがとうございました。

感謝 総務副委員長 寸田敬介

創立50周年事業では総務の副委員長を務めさせていただきました。45周年では記念講演会副委員長でしたので、総務は今回初めての経験となります。また、第50年度の幹事長との兼務でしたので、年度との橋渡しの役割りなのだと思ひながら研修させていただきました、、、と書いてしまえば一文なのですが、実際は中々微妙な立場で、その職責を全うできたかといえば自分自身疑問に感じています。

常に年度に周年の情報を伝えられればお互い協力を図れることも多かったかと思いますが、手持ちの資料も少なく、情報も断片的でしたので、年度当初は年度役員に不安な感情を与えてしまったかもしれないと反省しております。疎外感を与えてしまったかもしれません。その反動でしょうか、記念講演会に向けて年度の役員が総力あげて北野会長を盛り立てようと自ら情報を集めて協力してくれました。結果大成功で終えることができました。周年役員、年度の役員、皆さんと貴重な研修を共有できたことは大きな経験となりました。ありがとうございました！！

創立50周年記念事業を振り返って 総務副委員長 河合敏直

50周年という節目に総務委員会の副委員長と年度役員の会計と、大役を仰せつかり身に余る光栄と思うとともに責務の重大さに身を引き締める覚悟で臨みました。

いろいろと感じたことや気づいたことはありましたが改めて会計業務の難しさや重大さを痛感しました。

他の周年の役員・年度の役員・特別会員の皆様に本当に助けをいただき無事大役を終えることができました。途中、参加できない時期が多々ありましたが、江森委員長や寸田副委員長のもと一緒に役員ができたことをうれしくおもいます。ご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。

- 創立50周年記念事業 記念誌・広報委員会  
・記念誌が無事完成しました。皆様で協力ありがとうございました。
- 平野宏司会員・松本正平会員・高橋卓哉会員  
・創立50周年記念事業報告及び決算  
お認めくださりましてありがとうございました。
- 鳥居 清 会員  
・8/18 東京FM「スマイルミッション」で紹介されました。  
・8/20「散歩の達人9月号」ツウ旅に取り上げて頂きました。  
・9/7 中日新聞「トップの好物」に取り上げて頂きました。
- 第51年度執行部  
・本年度一年間宜しくお願い致します。

- 北野英樹 会員  
・第50年度及び創立50周年記念事業におきまして、事業報告、決算報告をご承認いただきましてありがとうございました。  
・「サライ」「女性自身」で水まんじゅうを掲載していただきました。また、9/15 テレビ朝日「黄金伝説」に出演します。よろしければ見てください。
- 平野宏司 会員  
・8/21 青森県にて開催された全国高校ファッション甲子園にて清凌高校（せいりょうこうこう）2年生が2チーム出場。全国3,190点の中を勝ち進み1チームが優勝、もう1チームが審査員特別賞となりました。
- 大橋誠治 会員  
・9月記念講演会及び総会が多数のご出席をいただき、無事に終了いたしました。ありがとうございます。

## 皆様へのお知らせ

- 親睦委員会より：

### ◆ 第1回講師を囲む会



より深いお話を聞くチャンスです。  
皆様のご参加お待ちしております。

日時：10月11日（火曜日） 21：30～23：30  
場所：CUCINA 大垣市郭町東2-13 3F  
TEL：0584-83-1030  
会費：4000円

- 実践研修委員会より：

### ◆ 第2回実践研修委員会のご案内



講師：  
ものづくり改善オフィス  
高津正吉 先生

演題：「実践する人材育成」  
日時：10月19日（水曜日） 18：00～21：00  
場所：大垣市情報工房 2階 会議室4  
参加対象：正会員・特別会員・ご家族（中学生以上）  
参加費：1000円

- 会員委員会より： 第51年度より新入会員獲得へ向けた情報発信の一環としてフェイスブックページを立ち上げ更新しておりますので是非皆さん大垣青年重役会のフェイスブックページへアクセスして頂いて“イイネ”をお願いします。



<https://www.facebook.com/ogakiseinenjuyakukai/>

新入会員候補者の情報も随時募集しておりますのでご紹介をお願いします。



- 広報委員会より：

- ◆ 広報委員会では「The next challenge」と題して、会員の皆さんが仕事やプライベートで実践している事や挑戦したいと思っている事をご紹介していきたいと企画しております。  
自薦・他薦ももちろんですが、こちらからお願いする場合もございますのでご協力の程宜しくお願いいたします。
- ◆ 第51年度（9月1日）より大垣青年重役会ホームページがリニューアルされました。  
リニューアルに伴いホームページアドレスが変更になりますので、ブックマーク等変更宜しくお願いいたします。  
現在のHPアドレス <http://www.ojb.jp> ⇒ 変更後のHPアドレス <http://www.ojb1966.com>